

■第6次総合計画パブリックコメント一覧

No.	頁	章	該当箇所	意見内容	対応等
1	無	無	スポーツによる青少年の健全な育成と学校教育による学力の育成とを無理なく円滑に両立させ、町の主張される創造型人材育成戦略構想、特にスポーツ・レクリエーション・ネットワーク構想を実現させるためにも、「第6次大口町総合計画」からも提唱されているNPOの有効活用及び、町による施設とサポート体制の拡充を主軸に、次世代を担う青少年の健全な育成に取り組んでいただきたい。	<p>施設管理の一元化と運用体制の整備</p> <p>総合グラウンドだけでなく、上小口・河北・秋田・二ツ屋の各グラウンドと休日及び夜間の各小中学校のグラウンドについて、保守管理から利用申し込みの受付、運営までをNPOに一元（集中）化して効率的に管理・運用させて稼働率を上げ、利用しやすい環境を整備していただきたい。</p> <p>施設設備の充実</p> <p>夜間ナイター照明の増設（総合グラウンドの西側、上小口・河北グラウンド）</p> <p>人口芝の導入（サッカーやグラウンドゴルフなど多目的種目に対応させるため）</p> <p>巡回バスの充実</p> <p>スポーツ教室の送迎は父兄に一任されているが、巡回バス利用もできるよう健康文化センターの最終便を19:30まで延長してほしい。</p> <p>子どもの安全確保と保護者の負担軽減のため充実を望む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツによる青少年の健全な育成については、<u>第5章の基本政策1</u>に「新しい時代を担う次世代を育む」をあげ、子ども達の個性や豊かな人間性を育むことを政策方針としています。文化・スポーツ活動の推進は重要であり、学校・地域・行政それぞれが役割を担い、振興してまいりたいと考えています。 ●施設管理をNPOへ一元化し、効率的な管理運用のための環境整備については、<u>第4章「改革方針」</u>の財政改革の地域経営基盤の強化方針の中で、住民団体やNPO等の活動促進のためにアウトソーシングを検討するとしています。NPOはアウトソーシングの対象の一つと考えています。スポーツ施設の管理や環境整備等は具体的な施策として展開していきます。 ●巡回バスについては、<u>第3章⑧道路交通ネットワーク軸</u>の中で、「公共交通の充実に努める」としており、本提案については潜在的な需要の有無を加味しながら、ルートの見直しの参考とします。

No.	頁	章	該当箇所	意見内容	対応等
2	16 17	2章	まちの将来像・暮らしの スケッチ	<p>将来像の「スケッチ」に加え、具体的尺度としての「指標の工夫」がほしい。</p> <p>たとえば、</p> <p>輝く水と緑には「清浄度・緑化度」</p> <p>元気な暮らしには「失業（就業）率・一人当たりの消費医療費」</p> <p>自治のまちには「団体参加率・協働化率」</p> <p>又、それぞれに、「近隣との協調・協働」についての検討を加えてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2章の3 5つの尺度「安全」「協働」「共生」「公平」「発展」については、地域の個性や現状を踏まえたまちづくりを行なう際に、総合的な政策・施策を考えたり、多様なまちづくり主体者の取り組むときの拠り所や、客観的に評価するための判断基準になるものです。そのため、普遍的な要素を含むもので設定しています。 ● 緑化度や失業（就業）率、一人当たりの医療費、協働化率などは施策等の具体的数値目標として有効なものであり、<u>評価を実施する際の基準</u>として検討対象にまいります。 ● 本町が、市町村合併協議で示したまちづくりの考え方「尾張北部地域全体が分権時代に対応した、住民主権の基礎自治体として再生すること」は、現在も変わりません。その考えを実現していくための計画が第6次総合計画であり、近隣との協調・協働については、<u>本計画策定のベースにある考え方</u>です。